



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	奥羽地方に於ける植物の分布
Author(s)	飯柴, 永吉
Citation	札幌博物学会会報, 7(1), 93-96
Issue Date	1917-05-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/63020
Type	journal article
File Information	Vol.7No.1_006.pdf



奥羽地方に於ける植物の分布

飯 柴 永 吉

ON THE DISTRIBUTION OF PLANTS IN THE ŌU DISTRICTS.

By

NAGAKICHI IISHIBA.

奥羽地方は本多博士の本邦植物帯区分によれば大部分温帯區に屬すと雖も地域廣く其間多少の差異なしとせず。予此地にあること十數年、今見る所により植物分布の概要を述べ識者の批正を乞はんとす。

一、岩代國は天然の分布境界なり。殊に此傾向の著しく發達せるは飯豊、吾妻、尾瀬の方面なり。試に二三の證をあげんか
たかねよもぎは飯豊山及朝日岳に盡きて以北に及ばず。えぞむらさきは沼山峠に盡きて以南に及ばず。こつまとりさうは尾瀬、ほろむいいちどは戸口原、ほそかうがいぜきせう及みちのくこざくらは飯豊山を最南としえぞぜきせうも亦會津を限とするが如し。まるはきんれいくわは飯豊を限りとし、しかも甚少く同山は却てはくさんおみなへしに富む。吾妻山に於ても然り。

二、奥羽地方を終端とする植物少からず。

こみやまりんだうは酢川岳以北に之を見ず。ほざきのやどりぎは早池峰を北端とす。

ひなざくら及ゆきわりこざくらは刈田岳を南端とす。わださうは岩代を北端とす。とがくししようまは羽後に盡き。はくさんをほほこは鳥海山を限りとす。めあかんふすまも亦然り。さまによもぎは早池峰を南端としひめつがざくらも亦然り。えうらくらんは奥羽を北端としきぬがささうは月山に及ぶ。くろびいたやは陸中を南端としくろかんばは早池峰を北端とす。たかねにがなも亦此地方に限らる。とべらも恐らく渡の波を北端とするならん。たてやまうつぼは月山を北端とすはまさじは陸中に限らる。やまうめきやうは早池峰を北端とするが如し。

三、地方によりて各特有の植物あり。今之を數小區に分ちて略記せんとす。

a. 西部山脈帯

奥羽地方を縦走する主なる山脈三條あり。其最西に位するものを鳥海火山

脈となす。鳥海山其盟主たり。越後山系其南にあり。月山。朝日嶽。飯豊山等之に屬せり。

此帶に特有なるはてうかいふすま（鳥海）はくさんをほほこ（鳥海、月山、飯豊）とがくししょうま（秋田縣）たかねよもぎ（飯豊、朝日）ながえあかばな（飯豊）たかねつめくさ（飯豊）きぬがささう（月山）みやまうすゆきさう（月、飯豊、鳥海）いはつゝじ（岩木）ひめくわがた（飯豊、月）をほこめつゝじ（飯豊、鳥海、庄内）等にして其本邦他地方に見ざる特有のものはながえあかばな、みちのくこぎくら其他數種の蘚類あり。

b. 中央山脈帶

此帶は尤も廣大なる地域を占め随つて植物に富む、岩手山を盟主とし八甲田、栗駒、刈田、船形、吾妻等諸山之に屬す。

ねもとしやくなげ（吾妻）あづまほしくさ（吾妻）ゆきわりこぎくら（岩手、船形、御前）いはてはたざほ（岩手）こまくさ（岩手、刈田）えぞつつじ（岩手）やちらん（八甲田）こみやまりんだう（栗駒）たかねすみれ（岩手）くろばなのはんせうづる等を特有とし其全く特有なる他地方に取て見ざるが如きものは甚少なしと雖も隠花植物をもあぐれば必ずしも少きにあらず。

西部山脈帶と共通なるものはひなぎくら、まるばきんれいくわ、きんれいくわ、みやまうすゆきさう、みやまかうがいせきしょう、いはぶくら、みやまりんだう、をにしほがま、みやましほがま、をほほきすみれ、はくさんほうふう、をほほつゝじ、たてやまうつほ、ひめさゆり、こあかばな、ひめあかばな、等頗る多し。

c. 東部山脈帶

早池峰を盟主とし地域廣からずと雖も特有の植物に富むこと前者に勝れるものあり。例へばほざきのやどりぎ（早池峰）ひめこぎくら（同）さまによもぎ（同）えぞのいはてんだ（早池、姫神）なんぶとらのを（早池）ひめつがぎくら（早池）なんぶいぬなづな（同）きんろうはい（同）かとうはこべ（同）こけすぎらん（同）えぞうすゆきさう（同）たかねはこ（同）りしりしのぶ（同）むらさきえんれいさう（同）くろばなのうまのみつば（姫神）ひなちどり（早池）ちしまあまな（同）くろかんば（同）やまうみきやう（同）みやまあづまぎく（同）はなへうたんぼく（同）くろみのうどひすかぐら（姫神）みやまやまぶきしょうま（早池）つるかめはさう、みやまあけほのさう（同）はやちね

すげ(同)等にして就中ひめこぎくら、なんぶとらのを、かとうはこべ、くろはなのうまのみつば、みやまやまぶきしろうま、はやちねすげ、*Lembophyllum japonica* 等は殆んど他地方に見ざるの珍種たり。然れども亦前二帯と共通のものなさにあらず。まるはきんれいくわ、みやましほがま、をほはきすみれ、たかねにがな、たかねなでして、*Anomodon Uematui* (共に早池) ゆきわりこぎくら(姫神)等は其主なるものなり。

d. 中央平地帯

山脈と山脈の間には平地少からず。其丘陵起伏の地にはくものすしだ、ひめとらのをしだ、あかみのやどりき、みすみさう、ふくじゆさう、さぎさう、みづとんぼ、みやまうづら、あけほのしゆすらん、ひめふたはらん、はくさんたいげき、こがねしだ、やがみすげ、ひめあまな、ひめびる、きはなのあまな、げんじうつぼ、せりばやまぶきさう、ほそばやまぶきさう、わださうの一種、さゝはえんごさく、とうごくさばのを、まるはこんろんさう、ひめはまぼつす、たちすみれ、いぶきすみれ、ごまのはぐさ、さくらさう、てうじさう(蘿麻科)まつかぜさう、くわがたさう、うすはさいしん等あり *Pholia Uematui*, *Rhynchosstegium Iishibae*, *Stereodon Iishibae* 等は他に見ざる珍品たり、又地域稍北に偏するを以て平地又は丘陵の地既に高山性の植物に富む、之を例するにくるまゆり、きみかげさう、あつもりさう、こあつまりさう、すみれさいしん、いはうちば、しろはなのえんれいさう、じやかうちどり、のびねちどり、ごえうつゝじ等なり。

e. 蘚原帯

山麓の地往々廣大なる蘚原をなすの地少からず、其植物の分布北海道に於けるものに酷似す、其最もよく發達せるものは岩代國にありて尾瀬、戸ノ口、赤井等の原野をなす、其主なる植物はいほみづどけ、せんだいみづどけ、ひめみづどけ、ほそひめみづどけ、はそはみづどけ、うるこみづどけ、きだちみづどけ、はりみづどけ、ゆがみみづどけ、をほみづどけ等の水蘚を始め附近にはとがくししろうま、をせぬますげ、びやつこゑ、くろはなろうげ、やちらん、こあにちどり、えぞむらさき、こみやまりんだう、つるこけもゝ、ひめしやくなげ、こつまとりさう、やなぎとらのを、ほろむいいちご、えぞせきしろう、みかづきぐさ、をほさくらさう、をほはうめもどき等あり。

f. 東 部 海 岸 帯

海岸の植物帯は陸奥より常陸に至るまで大差なきが如し。若し強ひて境界を附すれば予は暖流の北端なる金華山附近を以てせんとす。即ちえうらくらん、とべら、まめづた、こもちした等の植物は此方面に來りて絶滅し明なる境界線を示せり。

海岸植物の主なるもの次の如し。

どくうつぎ、はまなす、えぞのきつねあざみ、はまぎく、こはまぎく、ひめきんぼうげ、あきのみちやなぎ、まるはやはらずはぎ、たうをほはこ、すなびきさう、をかひじき、うんらん、ひしもどき、ひめいずみ、はまぼつす、Neckera lishibae はまだいこん、あかぬまさう、はまにんにく、みみかきぐさ、れんげつゝじ、らせいたさう、はまさじ、しはな、しろはなのくらたて、まるはたうき、えぞをほはこ、そなれむぐら等あり。

g. 北 部 海 岸 帯

僅に青森縣の一部を占むるのみにして其前者と異なるは却つて北海道の海岸に似て、例へば高山の頂に普通なる植物が海岸に近き平地又は小丘上に見出さるゝにありとす、がんこうらん、やちやなぎ、やまがらし、やなぎらん、ほたるさいご、いそつゝじ、しろよもぎ、やまはこ等之なり、猶西部海岸帯は多少東部と趣を異にする所あるも予の旅行せしは未だ一局部に過ぎざるを以て之を他日に保留すべし。

h. 奥羽地方に未だ發見せられざる植物

以上甚粗笨なる記載を試みたるが猶北海道にも發見せられ又既に信野地方にも産することの知られたる植物即ち當然奥羽地方に發見せらるべくして未だ産否の知られざるものをあぐれば、たかねみゝなぐさ、しこたんはこべ、たいつりわうぎ、りしりわうぎ、じんえうすみほ、うるつぶさう、ふじはたぎほ、をのへりんだう、ちしませんぶり、ちしまりんだう、ゆきはりさう、えぞのつがざくら、きはなしやくなげ、ぢむかて等なり。